

氏名	林 裕栄	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	老年看護学、在宅ケア学、地域看護学、家族看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	千葉大学看護学部看護学科卒業（看護学士）、埼玉大学 経済学部経済学研究科経済科学専攻（修士課程）修了（修士（経済学））、日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）修了（博士（看護学））				
経歴	1984年～埼玉県保健所勤務(5年間)、1989年～埼玉県立衛生短期大学助手・講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師・准教授を経て、2014年～同大学看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護研究学会（査読委員）、日本看護学教育学会（評議員）日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本看護学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事：総務委員長）等				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説2021	共著	あり	メディック・メディア、579頁	青木宏心・林 裕栄他	2020.4
2	クエスチョン・バンクケアマネ2021ケアマネジャー 試験問題解説	共著	あり	メディック・メディア、571頁	大口達也・林 裕栄他	2020.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	看護学生の訪問看護への興味と就職との関連－首都圏内の2か所の看護学生を対象	共同	第25回日本在宅ケア学会学術集会（誌上開催）	○林裕栄・新井由実・水間夏子	2020.6	
2	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同	第27回日本時間生物学学会学術大会（Web配信）	○久保田富夫・林 裕栄・武田美津代・新村 洋未・畔上光代・滑川道人・三塩操	2020.9	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	訪問看護師育成のための教育セッションの機能と課題に関する研究	研究代表者	2020.4～2023.3		
2	埼玉県立大学・奨励研究A	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	研究代表者	2020.4～2021.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	家族看護学	○	8コマ	遠隔の講義のため、各回ごとにPWを取り入れたり、YouTube動画の視聴をするなど講義にリアリティを増すように工夫した。		
2	老年看護学Ⅰ		2コマ	老年看護分野の制度政策など新しい情報を取り入れるようにした。		
3	認知症看護	○	4コマ	最新情報を取り入れることや模擬事例を提示し、PWを組み込み、認知症のケアに関してのイメージづくりを図り、卒後の実践現場での活用ができるようにした。		
4	公衆衛生看護展開論Ⅱ		1コマ	精神疾患を抱えながら生活する人への支援、地域支援における看護職の役割について教授した。最新の国の動向を教授するとともに、写真や事例などを交えて学生が理解しやすいように工夫した。		

5	大学院博士前期課程；地域ケア支援論	○	4コマ	地域保健福祉制度の変遷、地域ケアにおける看護理論、今日における地域ケアの動向と課題を教授した。
6	大学院博士前期課程；老年看護援助論		4コマ	超高齢社会の情勢に応じた高齢者理解のための援助方法について教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ		1コマ	講義の一部を担った。
2	大学院：看護学演習（老年看護）	○	15コマ	研究計画書作成に向けて指導を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2020.4～6	オンデマンド授業と遠隔での実習になり、Zoomでの発表会と最終課題レポートの評価を行った。
2	老年看護学実習Ⅱ		2020.11～12	遠隔実習のうち、認知症者本人・家族への支援および特別養護老人ホームの各種専門職の支援について学ぶことができるように実習指導を行った。
3	総合実習		2020.4～7	本来であれば訪問看護ステーションの実習を行う2名の学生に対して遠隔での看護過程の展開を指導した。加えて地域グループとして各種遠隔での課題を行うにあたり指導助言を行った。
4	IPW実習		2020.8～10	本学多学科からの学生5名と埼玉医科大学学生1名の計6名の学生を対象に専門職連携実践に関する教育指導をオンラインで行った。それぞれの学科の強みを生かしつつ、多職種連携を学べるように、用意された事例シートを使いながら意見交換を行った。Zoom上でもそれぞれが意見交換をできるように指導して、チーム形成ができるようにサポートした。
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文			主指導 0名 副指導 0名
2	修士論文		2019.4～2021.3	主指導（指導教員） 1名 副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文			主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	埼玉未来大学 ライフデザイン科 講義		いきいき埼玉	認知機能と生活習慣病（嵐山学園） 2020.12
2	埼玉未来大学 ライフデザイン科 講義		いきいき埼玉	介護を考える～老親、配偶者、そして自分～（春日部・川越・川口・熊谷・嵐山・伊奈学園） 2020.12～2021.2
3	埼玉県立大学後援会Web 講演会 講義		埼玉県立大学後援会	「認知症介護のツボとコツ」 2020.9
4	新卒者等訪問看護師育成研修 講師		埼玉県訪問看護ステーション協会	キャリアをデザインする、事例検討会（月1回） 2020.7～2021.3
5	看護教員養成講習会 講師		埼玉県看護協会	専門領域別看護論演習（4時間の講義） 老年看護領域の成り立ちと枠組み、構造を教授した。 2020.6
6	埼玉県精神看護・精神地域ケア事例検討会		さいたま市メンタルヘルスネットワーク会議	精神科事例検討会を定期的開催し、県内外の支援者の支援スキルの向上を図った。 2020.5～2021.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県福祉部地域包括ケア	埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議 委員	2020.6～2022.5	
2	埼玉県保健医療部医療人材課	埼玉県看護職員確保委員会 委員	2020.10～	
3	日本看護学教育学会	評議員	2020.6～2024.6	
4	日本看護研究学会	査読委員	2020.7～2022.7	
5	越谷市役所	開発審査委員	2019.4～現在	
6	もくせい家族会	評議員	2017.4～現在	
7	埼玉県訪問看護ステーション協会	顧問	2016.4～現在	
8	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者等訪問看護師育成プログラム作成委員会	2015.4～現在	
9	認知症者と家族の会	相談世話人	2003.4～現在	
10	埼玉県保健医療部	埼玉県訪問看護推進検討委員会委員	2018.4～現在	
11	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事（総務委員長）	2017.4～現在	
12	採用と大学教育の未来に関する産学協議会	「今後の採用とインターンシップのあり方に関する分科会」委員	2019.3～2021.3	
13	埼玉県看護協会	看護師職能委員Ⅱ	2019.6～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会、障害学生支援検討会、等		2019.4～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2019.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				